



NEXT STAGE

環境 & 廃棄物情報通信 『創造』

創業 40 周年特別号



創業 40 周年を迎えて
ごあいさつ 代表取締役社長 恩田健次
テーマについて
トピックス

ウィズ環境株式会社

創造

令和 2 年 9 月 16 日発行 産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬及び処分・各種再生処理・建物解体工事・計量証明事業 〒999-7541 山形県鶴岡市西目字水戸 1-29-9 番地 ☎: 0235-35-3599 (代) FAX: 0235-64-0744

ウィズ環境株式会社

With TOPIX !!

FROM WITH ENVIRONMENT TO YOU.

古紙リサイクルの現状レポート

古紙のリサイクルが危機を迎えています。日本では古紙の回収率・再資源化が 80% を超えており、これは世界の中でも優秀な数字です。家庭や事業所での徹底した分別、品目毎の分別回収、再資源化施設での最終選別、製紙工場での高度なリサイクル処理など多くの工程と人の手を経て高いレベルのリサイクルが実現しています。



一方で再生資源である古紙の価格は大きく変動しており、特に今年は数十年振りと言われるほどの低価格、昨年比で半値以下と暴落しています。大きな利用先である中国の廃棄物規制やコロナによる世界的な製品需給バランスの混乱が原因といわれていますが、リサイクルの優等生と言われる古紙の価格がこれだけ乱高下するのは異常な事態です。実際にある地域では古紙の回収業者が資源回収を辞退、自治体も補助金の見直しや自治体自身による回収を行う等の対応をしています。また事業所からの古紙回収についても有料回収となるケースが増えています。

この状態が続くと排出者のコスト負担が大きくなり、再資源化に携わる事業者の利益も圧迫されます。また回収方法・回収体制が縮小されると回収率が下がり、結果として可燃ごみとして処理されることとなり、処理コストの増加や焼却処理による CO2 の増加に繋がります。また回収業者や再資源化施設で廃業するところも出てきます。地域の回収・リサイクルフローは一度無くなってしまおうと元に戻すことは簡単ではありません。

当社も回収業者や利用先の製紙工場、また排出者である市民の皆様や企業、さらに行政ともしっかりと連携をし、分別基準の明確化や回収の効率化をはかり、地域の古紙リサイクルを維持するための取組みを進めてまいります。

ウィズ環境より、ホットなニュース・情報をお届けいたします。

各種団体役員就任のお知らせ



弊社代表取締役専務 黒木亮が
鶴岡中央ライオンズクラブ
2020-2021 年度会長に就任いたしました。



弊社社員 匹田枝里が
国際ロータリー第 2800 地区
鶴岡ローターアクトクラブ
2020-2021 年度会長に就任いたしました。



弊社代表取締役社長 恩田健次が
新たに発足した鶴岡市環境事業協同
組合 専務理事に就任いたしました。
この組合は鶴岡市の委託を受けゴミ
ステーションでの家庭ごみ回収を行
う全 12 事業者が参加するものです。

編集後記

コロナの影響により、見通しの立たないことや見直しが必要なことなど課題が次から次へと出ています。スポーツにおいてもオリンピックの延期や夏の甲子園の中止、プロスポーツから学生競技に至るまで大きな影響が出ています。そんな中で、SDGs 活動の一環としてスポーツを支援し、スポーツで地域を盛り上げたいとの思いから、酒田市を拠点とする女子バレーボールチーム「アランマーレ」の 2020 オフィシャルパートナーとして応援させていただくことになりました。厳しい状況下ではありますが、地域に根付いた活動の灯を絶やさぬよう市民と企業が一体となって取り組み、新しい地域のカチを創造する機会にしていけたらと思います。



ホームページ <http://www.eco-with.com> または「ウィズ環境」で検索！！



おかげさまでウィズ環境株式会社は40周年を迎えました

本社

エコパーク大山

NEXT STAGE ~True Value Creation!!~



代表取締役社長

40周年記念のご挨拶

仲秋の候、貴社ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当社を御利用いただき御厚情のほど、心より御礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルスに関しまして経営上影響のあるお客様も多くいらっしゃいます。

また、全国各地、県内におきましても豪雨等による災害も多く発生しております。

被災された方にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興と復旧を心からご祈念申し上げます。

①40周年を迎えて

弊社ウィズ環境株式会社は会長の恩田次郎が起業し、法人化してから40年を迎えることができました。小さな空き瓶回収業からスタートし一般廃棄物収集運搬許可取得をきっかけに、現在の多角的な総合廃棄物処理業へと進化してまいりました。ここまで来るには様々な困難な道もありましたが、その一つ一つの課題を社員とともに解決し、また、地域社会での立ち位置と必要性を追求し、サービス業としてお客様から選んでいただける会社づくりを心がけてまいりました。2018年には、大山工業団地内にエコパーク大山として木くずと古紙類のリサイクルプラントをオープンさせ、同業各社からもご利用いただいております。引き続き、総合廃棄物処理業としての役割を認識し、邁進していく所存です。



廃棄物事業開始当時

②現状を見つめ、未来予測する

本年度のスローガンとして「NEXT STAGE ~True Value Creation!!~」とし、廃棄物処理の価値創造に努めてまいります。昨今の事情を考慮し様々な視点で分析と予測をしておりますが、今般のコロナウィルスによる影響で鶴岡市を中心としたエリアがどのような状況に変わっていくのか、また、避けては通れない人口減少と働き手不足、増税等、この地域だけでも様々な仮説を考えなくてはなりません。

また、弊社のようなリサイクル産業においては、アジア圏市場の動きで大きくコストが変わっていきます。特にアメリカと中国の貿易摩擦は、これまで安定しておりました古紙売却に大きな影響を与えます。世界の動きと地域の現状をしっかりと予測し、次の一手を考えてまいります。



古紙リサイクル施設

③ソリューションチーム

本年度、特に力を入れていく点として、弊社の企業価値をさらに可視化し営業力と企画力、市場開拓力を高めてまいります。そのため昨年度社内に「ソリューションチーム」を組織化しました。ただ単に廃棄物を処理するだけでなく、そこに伴う管理や発信等を弊社プロパー社員のシステムエンジニアとWebデザイナーが社内のみならずお客様の課題解決にかかわる事業プランニングをご提案いたします。

また、廃棄物処理部門としてはこれらのシステムを活用しつつ、将来を見据えた新たな処理施設建設に向け検討を始めております。



システム開発

④未来に向けて

より企業価値を可視化していく点から2年前より取り組んでおりますSDGsについても引き続き推進していくとともに、「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」会員として積極的に発信し、アワードでの大賞を目指してまいります。

そして、様々な事業を構築するのにも人財です。今年だけで5名以上の社員が弊社に入社いたしました。縁があって出会った家族のような存在です。一人一人がどのような人生設計を行っていくのか、会社は其中でも欠かせない存在でありその人生の中心となるものです。そんな人生設計を会社と一緒に、ともに考えなくてはなりません。そのようなことをこれまで以上に追求しながら社内づくりを行ってまいります。



全体会議

40年という長きにわたって商売をさせていただいておりますのは、

お客様、地域住民の皆様のご理解とご協力があることです。

これまでの感謝を申し上げますとともに、これから先、地域から社会から必要とされる会社にさらに成長していきますこととお約束いたします。

これまで以上にご協力とご支援を頂きますようお願い申し上げます。今後のウィズ環境に是非ご期待頂ければと思います。